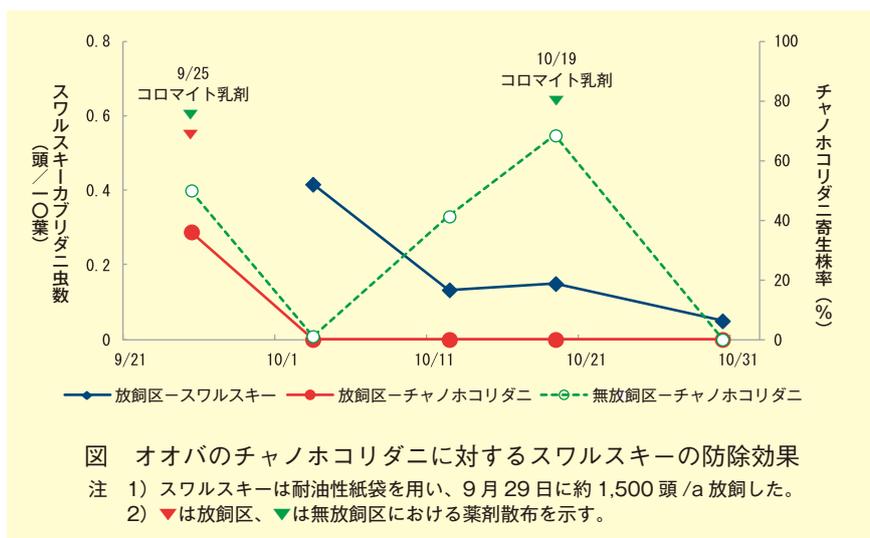


農業技術センターニュース

目次	
 スワルスキーカブリダニを用いた オオバのチャノホコリダニ防除 ……1	 青枯病抵抗性台木‘チャガマラン’を 育成しました ……4
 ダリアの品種別吸水特性 ……2	 青枯病抵抗性台木‘チャガマラン’の 三色ピーマンへの適応性 ……5
 ほうじ茶の焙煎程度と内容成分 ……3	 堆肥の長期間連続施用による 早期水稻および土壌への影響 ……6

スワルスキーカブリダニを用いた オオバのチャノホコリダニ防除



チャノホコリダニ (写真1) は登録農薬の少ないオオバにおける重要害虫のひとつです。スワルスキーカブリダニ (以下スワルスキー) は、ピーマン類ではチャノホコリダニに対して防除効果が高いことが明らかになっていますが、オオバにはスワルスキーの代替餌となる花粉がない上、葉上に放飼すると製剤内のふすまが収穫葉に付着し商品性を損なうおそれがあります。そこで、スワルスキーの効果的な利用方法を検討しました。

その結果、スワルスキー約50頭とふすま、三温糖およびビール酵母の混合物30gを耐油性紙袋と一緒に入れることで、袋内で約

1ヶ月スワルスキーを維持することができました (データ略)。これをオオバ株上に設置 (写真2) することで、チャノホコリダニに対し高い防除効果が認められました (図)。ただし、低温期には防除効果が低下するため、薬剤防除に切り替える必要があります (データ略)。

本試験は農水省平成25年度農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業「オオバに発生する病虫害の新規防除資材を活用した総合防除体系の確立」の中で実施しました。

(昆虫担当 垣内加奈子 088-863-4915)